



日本ニューノズル株式会社は、昭和24年に精密機械機器の部品製造を開始して以来、長年の業歴を有する射出成形機部品の製造業者である。

射出成形機部品製造では、ノズル、スクリューヘッド、シールリング、ギャクシリング、シリンダヘッドなどのプラスチック射出成形機部品の製造を手がけており、近年では精密機器部品製造に使用するノズルとスクリューヘッドの扱いが主力となっている。また、製造における技術を活かして、ノズル、ノズルウケ、スプール、ニードルなどの金型部品やシート、ポペットなどの航空機部品のほか医療器械器具部品などを自社製造している。

これまでに蓄積した技術力への評価は高く、以前から製造機械設備への投資には積極的で、IT関連向けなど最新技術対応の設備投資をはじめ、納期管理、低コスト生産を目指した設備投資を行っている。こうした取り組みにより、スクリュー先端部品にとどまらず、各種金型部品、精密機械部品など、材料、加工、熱処理、コーティングまで一貫して製造できるほか、耐食、耐磨耗性を要求するスクリュー部品など小ロットでも対応可能な体制を構築していることも特色として、上場企業など最新技術を要する得意先も抱えることで営業基盤を確立している。特に、精密加工のみならず、真空熱処理やイオン窒化も内製化している業者はほとんどなく、複合的な生産が可能のため、大手メーカーが要求する成形品の素材や品質、用途に適応した部品を供給できることに強みを有している。

今後もEV（電気自動車）、ドローン、VRグラス、次世代スマートフォンなど、これからより多くの需要が見込まれる分野に、当社の技術は必要とされており、射出成形機ノズル国内シェアNo.1企業として「ノズルを通じて社会を便利にし、生活を豊かにすることによって社会へ貢献する」をミッションとして掲げ、IT・EV向けの高品質のノズルを世界中へ供給していくとしている。

なお、令和4年9月に中小企業庁により、当社の「次世代車の軽量化に貢献する新素材量産を目指した射出成形技術の高度化のための中核部品供給事業の展開」の事業計画が令和2年度第3次補正・令和3年度補正 第6回「事業再構築補助金 グリーン成長枠」に採択された。また、令和5年に入り、サプライチェーンの取引先や価値創造を図る事業者との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築することを、「発注者」側の立場から企業の代表者の名前で宣言する「パートナーシップ構築宣言」を実施している。



日本ニューノズル株式会社

本店：静岡市葵区竜南2-6-12

代表：望月 飛竜

電話：054-207-9290

URL：<http://nihon-new-nozzle.co.jp>

TDB企業コード：420149506

法人番号：8080001008861